

コロナ禍の市民の暮らし・営業を守れ 市長への要望など積極的に提案し奮闘

頑張ってます
日本共産党



佐藤おさむ議員

山屋敷町東山8-11
TEL・FAX 83-2389



牛野北斗議員

昭和7-1 知立団地42-102号
TEL:89-2377 FAX:89-2644
swushino@hokutowell.net

日本共産党知立市議団

新型コロナウイルス感染症対策など、市政へのご要望・ご意見・ご相談をお寄せください。

弁護士による
無料法律相談
毎週土曜日 午前10時~12時
☆申込みは日本共産党議員まで

かきつばた

新型コロナウイルス感染症等の 発症時における「避難所」の在り方は

6月議会では日本共産党は、新型コロナウイルス感染症拡大の最中に、災害が起きたら避難所は大丈夫か、市の対応を質しました。市は、介護施設など福祉避難所は感染症問題で利用できず、市内のホテル等への受け入れ要請検討をしたい。学校体育館など指定避難所では、3密対策で大勢は入れないため、学校の教室も利用できるように、教育委員会に依頼していく。町内公民館の活用も可能で、その際、防災物資は市が届けるなど答弁しました。

今後、県が感染症発生時の避難所運営ガイドラインを示すので、市もさらに見直していくとも。



子育て支援

就学援助を受けている家庭に 学校給食費の相当額を支給実現

学校臨時休業(3月~5月)に伴い、「毎日の食費が高くつくこと!」との声が多く聞かれました。日本共産党は、給食費を補助している就学援助世帯には、給食費相当額を支給すべきと市に提案。市は、さっそく検討し、4月、5月の31回分の給食費相当額を支給。感謝の声が届いています。

保育所 コロナ禍で職がなく、退園に。困るの声。

保育所入所の要件に、3か月間の求職活動がありますが、コロナ禍で就職できず、26世帯中6世帯が6月で退園させられました。日本共産党は、全国で「登園自粛」を考慮し、求職期間2か月延長の例もあると指摘。しかし、市はあくまで退園、再度申請をと説明。

共産党市議団のコロナ禍での緊急提案・成果

主な提案項目	市長回答	市の対応
市役所窓口に飛沫防止の亚克力板設置を	良い提案。早急に進めたい。	4月13日に全窓口に設置
水道基本料金の免除を	財政的に困難	4か月分を免除
学校休業中の給食費相当分を就学援助家庭に	検討	5~6月分を支給
生活困窮者急増の中、担当職員の増員を	相談者は多い。検討	7月から福祉課に2名増員
大学生への緊急奨学金の創設を	奨学金は検討	小中学校に大学生を計20人程度6月、7月に緊急雇用
国の給付金申請に社会保障労務士の委託料補助を	検討	5万円を上限に補助実現
国の感染症対策交付金増額の意見書を提案	議員提出議案を	6月議会に上程。開会日に全会一致で採択、国へ。

国民健康保険

国保に初めて傷病手当金を創設 コロナ感染症で9月まで限定に

国民健康保険には、保険加入者が4日以上以上の病気・ケガなど療養の際、所得補償をする傷病手当金はありません。今回、コロナ感染症に限り傷病手当金が制度化、かねてより要求していた傷病手当金が初めて実現。9月までの限定的ですが国保へも支給の必要性が認識されたこと自体は前進です。

事業主も対象にすべき(共産党が追及)

ただし、従業員5人未満の商店などの事業主は対象外であり、問題です。日本共産党は、市の判断で拡大すべきと追及しました。



水道基本料金4か月分免除、総額約1億2千万円
学校休業の給食費相当額を就学援助世帯に支給

知立市6月定例会で日本共産党知立市議団の佐藤おさむ議員、牛野北斗議員は、コロナ禍で不安を抱える市民の「命・暮らしを支える市政を」と全力で取り組みました。日本共産党市議団は、林市長に新型コロナウイルス感染症対策で、4月6日、5月7日に緊急申入れを行い、水道基本料金の免除、就学援助世帯に給食費補助等が実現しました。